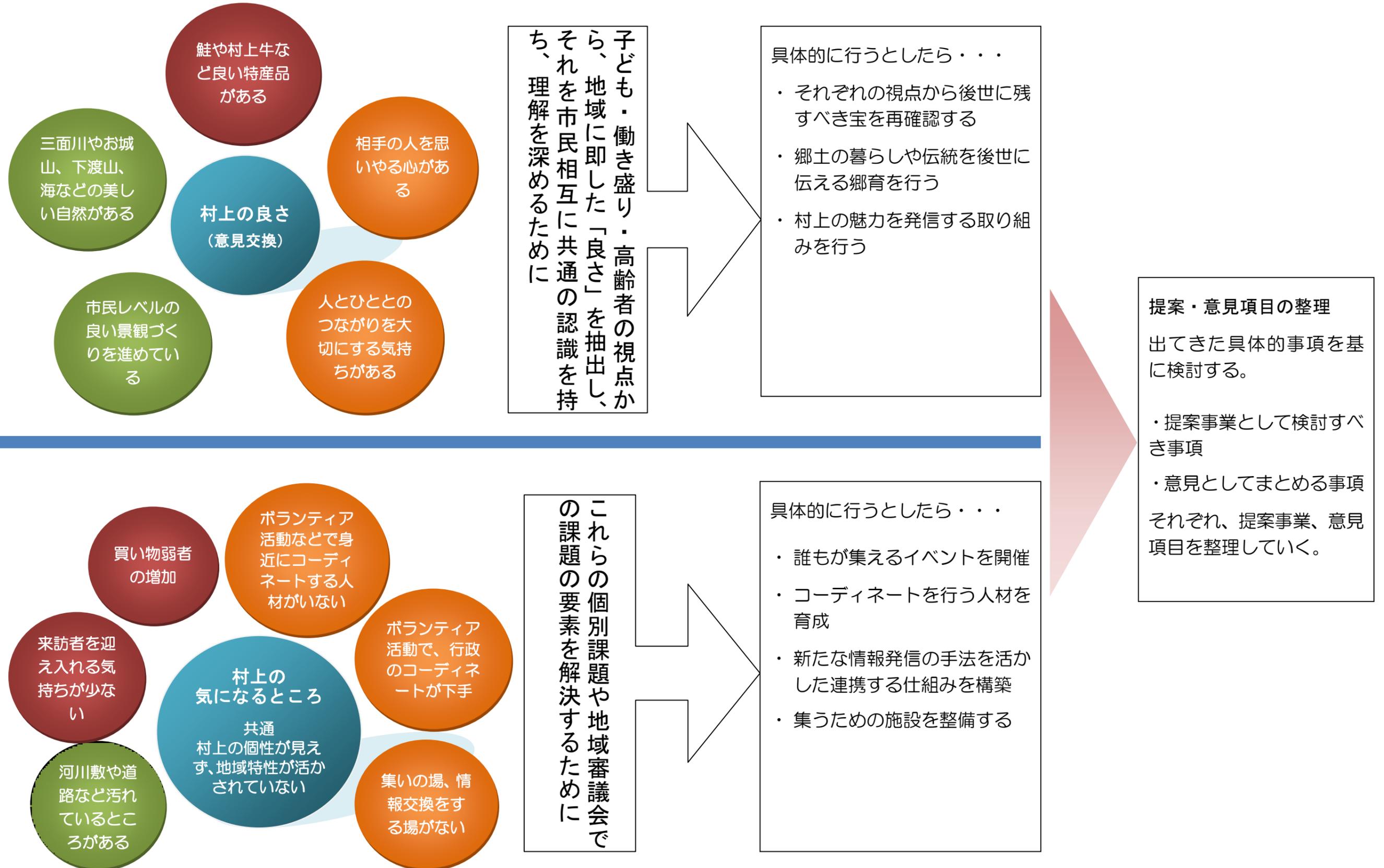


2 意見交換を踏まえた具体的な今後の検討方針（案）について

昨年度の村上地区地域審議会の検討結果を受け、外からの目線の必要性から、地区内に在住で市外から転入されてきた人の意見交換会を行いました。なお、良いところだけでなく、気になるところや嫌いなところを併せて伺いました。この結果、次の2つの方向から今後の検討方針（案）を見いだしました。



意見交換会の意見要素

1 村上のいいところ

- ・ 三面川の河川敷から見た夕日、お城山から見た風景など、良い自然景観がある。
- ・ 鮭や黄金豚などの良い特産品がある
- ・ 各家々の庭先がきれいで、おもてなしの心があり雰囲気もいい。良い景観づくりを進めている。
- ・ 相手に合わせた会話などをしてくれ、つながりを大切にしている。
- ・ 震災の際のボランティアや普段から“人のために何かをしたい”と思いやりがある人が多い。

2 気になるところ

- ・ お城山の駐車スペースが少ないなど、迎え入れる体制が整っていない。
- ・ 河川や道路などで一部汚れているところが見られ、環境の悪いところがある。
- ・ 駅前などで、村上の個性が見えないところもあり、海山川などの様々な条件がそろっている市であるが、その特性が活かされていない。
- ・ 村上の人は、コミュニケーションをとるのが下手。
- ・ 若い人の仕事が無いのは、仕事を選んでいるからか。そのような中、若者流出が多い事が問題。
- ・ 堆朱などの製造に対する支援策が無い。
- ・ スーパーの閉店等で、買い物弱者の増加が気になる。
- ・ 行政は、ボランティアなどをコーディネートするのが下手。
- ・ 身近にボランティアなどをコーディネートする人材がいない。
- ・ 様々な取り組みや活動に関する情報を交換する場が無い。情報共有するツールが少ない。

3 活かし、改善するための意見

- ・ 訪れる人を迎え入れるための施設等を充実する必要がある。
- ・ 市民の手で、お金をかけず、環境改善ができるような事業をしてもらいたい。
- ・ 村上の個性やらしさを活かしたおもてなしの心で来訪者を迎え入れたい。
- ・ 地区のイベントなどで、地域の産物を誰でも販売できるようにしてほしい。
- ・ 町づくりやボランティアなどに誰もが参加できるような「場」がほしい。
- ・ ボランティア活動をコーディネートする人材を育成してほしい。
- ・ 空き家などを活かし、誰もが集う事のできる「まちづくりハウス」などがほしい。

以上を参考のうえ、いいところ気になるところを確認いただき、「いいところを活かし、気になることを改善する」ための取り組みについて意見をいただきたい。